

野生食用植物の種類と採集量

——白山麓白峰村の統計から——

松山利夫* 石川県白山自然保護センター

VARIETY AND VOLUME OF EDIBLE PLANTS IN THE UPPER TEDORI BASIN

Toshio MATSUYAMA, *Hakusan Nature Conservation Center*

1

現在、白峰村（石川県石川郡）役場には、1894年（明治27年）以降における人口や主要な農・林産物など各種の統計がきわめてよく保存されている。これらは、それぞれの時代において、上級の所管官庁へあてた役場からの報告が大部分をなしている（以下、これを役場報告と仮称する）。そのなかに野生食用植物に関する統計があるので紹介したい。

役場報告において、統計の対象となった野生食用植物の種類は、相対的に商品価値が高いワサビをはじめ、堅果類ではトチノミ、クリ、クルミの3種が、根茎類ではヤマノイモがある。そのほか、ワラビ、ゼンマイ、ウド、ギボウシなどが認められ、コブシが化粧品用香水の原料として採集されているのが注意される。しかし、これら各種のものは各統計年次において、必ずしも一定してとりあげられているわけではない。そのため、役場報告からだけでは、採集量や価格についての経年変化を明らかにし得ないのがおしまれる。

さて、詳細な調査によって学術的な価値が高いとされる白峰村史〔白峰村 1959〕には、この種の野生食用植物のうちワサビ、ゼンマイ、ワラビについてはその収量が記録されている。それによると、これら3種は「輸出品」に数えあげられており、他の林産物（杉皮や木羽、各種の板など）とともに主として勝山方面に出荷されてきたことが知られる〔白峰村史 下 pp. 95~98 1959〕。これに反して、堅果類やウド、ギボウシ、ヤマノイモは商品化される機会が相対的に少なかったようで、同村史もこれらについての記載を省略している。

2

野生植物は商品化され得るものが限られており、かつまたその量においてもきわめてわずかであるために、数量的な記載はほとんどの場合おこなわれていない。しかし、林野利用の諸形態の1つとしてごく最近まで存続してきた林野の採集利用を、各種の利用形態のなかに位置づける作業にとって、この種の統計は重要な意味をもつものと思われる。さらには、いくつかの野生食用植物に認められたかつての「ヤマノクチ」制を存続させてきた背景を考察する際にも、1つの資料になり得るのではないかと考えられる。たとえば、尾口村五味島や白川村飯島には、トチノミの採集に関する「ヤマノクチ」と共同一斉採集がおこなわれていた（これについては、別の機会に報告を予定している）。これが存続してきた背景には、トチノミがトチモチなどに加工・食用され食糧としてきわめて重要であったため、これらがムラ人之間において一定の価値をもっていたことによるものと推察されるのである。

* 現在 国立民族学博物館

3

役場報告によると、ヤマノイモやワサビは収量および単位あたりの価格の変動の幅が相対的に小さい。これは、後者については栽培化されていることによる（したがって、これは野生植物から除外すべきであろうが、ここでは役場統計を忠実に再録するためにとりあげている）。また、前者のヤマノイモは、地上部が1年生であるのに反して地下部は多年生で、年を経るにつれてその多肉質根が成長する。そのため、採集に際しても対象が選択される結果、収量の変動が少ないものと思われる。

これらに反して、トチノミ、クリ、クルミは、収量とともに価格も変動の幅がかなり大きくなっている。収量の変化は、おそらく隔年結果などが影響していると考えられる。たとえばクリについては、役場報告の中につぎのような記載があることから、このことが推定されよう。

大正二年

但 栗 当地ニ産スルモ本年ハ開花后直チニ落穂シ為メニ結實ナシ。但シ少量ノ結實セル向アル
モ何レモ虫害ニ羅リ
一ツモ食用トスルニ足ルモノナシ

あるいは、昭和8年には、

栗ノ實ハ本年ハ廻リ年ニテ結實少ナシ

などの記載が認められるのである。

なお、各野生植物の単位あたりの価格を相対的に位置づけるために、白峰村における米価の変遷表〔村史 下 1959 p. 101〕をあげておいた。これによれば、この地域で主食の一部ともなったトチノミ〔松山, 1972〕は1石あたり米価の1/3ないし1/4の価値が与えられていたようである。

文 献

松山利夫 1972 「トチノミとドングリー堅集類の加工方法に関する事例研究一」

季刊人類学 Vol. 3-2

白峰村 1959 『白峰村史』 上 下

米価の変遷表

年 次	1石当価格
明治10	4 610
23	7 267
28	8 299
33	10 354
37	12 747
大正 3	14 870
8	43 080
10	39 220
昭和 1	32 840
12	29 920
16	49 000
20	300 000

白峰村史 下 1959
P. 101による

松山：野生食用植物の種類と採集量

白峰村林野副産物表 1

年	産物	数量	価格	単価	備考
明治27年	栗 實	400石	200円	50銭	
	橡 實	680	1,360	200	
	胡 桃	10	50	500	
	干 蕨	350貫	42	12	
	獨 活	1,700荷	204	12	
	蓬	3,500貫	175	5	
	山 葵	1,200	960	80	
	生 狗 脊	500荷	50	10	
	薯 蕷	500貫	150	30	
ぎ ぼ し	400荷	40	10		
32年	栗 實	5石	50円	100銭	三十二年度ハ不作ニテ至テ僅少ナリ
	蕨	150貫	60	40	干シタルモノニテ計算ス
	狗 脊	850	340	40	同 上
	山 葵	1,200	1,680	140	
	獨 活	6,500束	195	3	一束ハ三十本斗リナリ
	薯 蕷	180貫	45	25	
35年	栗 實	40石	160円	400銭	白峰・桑島附近ノ山中（本年ハ氣候不順ニ付不作）
	山 葵	800貫	980円	122円	字白峰小字市ノ瀬三ッ谷附近
37年	栗 實	50石	175円	350銭	山葵ヲ除ク他ハ皆村内消費
	山 葵	800貫	4,800	600	
	薯 蕷	150	5,250	35	
	獨 活	4,000	200	5	
	生ワラビ	800	40	5	
	ゼンマイ	300	120	40	
38年	栗 實				栗ノ實ハ本年ハ結實セズ
	薯 蕷	130貫	46.80円	36銭	
	山 葵	600	4,200円	700	
	獨 活	4,000	200	5	但シナマ
39年	栗 實	60石	240円	400銭	山葵ノ外ハ村内消費
	山 葵	500貫	500	100	
	獨 活	4,000	200	5	
	薯 蕷	100	40	40	
40年	山 葵	400貫	480円	120銭	山葵ノ外ハ村内消費
	薯 蕷	80	32	40	
	獨 活	4,300	172	4	
41年	山 葵	500貫	600	120銭	
	薯 蕷	80	28	35	
	生 獨 活	4,000	160	4	
	干ぜんまい	150	90	60	

石川県白山自然保護センター研究報告 第3集

白峰村林野副産物表 2

年	産物	数量	価格	単価	備考
明治42年	山 葵	800貫	880円	110銭	
	薯 蕷	100	35	35	
	生 ウド	4,000	160	4	
	干ぜんまい	150	90	60	
	トチノミ	40石	120	300	
43年	山 葵	700貫	980円	140銭	
	ヤマノイモ	100	40	40	
	生 ウド	4,000	120	3	
	干ぜんまい	70	42	60	
	トチノミ	20石	70	350	
	コボシノ芽	60貫	24	40	コボシノ芽ハ化粧用油ノ原料ナリ
44年	ヤマノイモ	120貫	54円	45銭	
	ウ ド	5,000	200	4	
	トチノミ	18石	72	400	
	山 葵	720貫	1,080	150	
	干ぜんまい	180	108	60	
大正11年	ワ サ ビ	786貫	1,179円	150銭	
	ヤマノイモ	124	62	50	
	干 ウド	184	92	50	
	干ワラビ	100	50	50	
	干ぜんまい	346	242	70	
	トチノミ	74石	222	300	
2年	ワ ラ ビ	80貫	32円	40銭	
	ぜんまい	406	242	60	
	ワ サ ビ	1,098	2,086	190	
	ヤマノイモ	131	65	50	
	ウ ド	355	177	50	
4年	ク リ	80石	480円	600銭	
	トチノミ	200	900	450	
	ワ ラ ビ	100貫	45	45	乾燥シタルモノ
	ゼンマイ	400	240	60	"
	ワ サ ビ	1,000	1,500	150	
	ヤマノイモ	100	60	60	産額少ナリノ為價格高シ
	ウ ド	400	160	40	乾燥シタモノ

松山：野生食用植物の種類と採集量

白峰村林野副産物表 3

年	産物	数量	価格	単価	備考
大正10年	栗	444石	6,660円	150銭	野生ノモノニテ全部村内消費
	クルミ	6	150	250	本年ハ結實少ナリ為メニ價格高シ 野生ノモノ村内消費
	トチノミ	142	1,704	120	野生ニテ全部村内消費
	ワラビ	2,800貫	252	9	生ノモノ。生蕨十五貫ヲ以テ乾燥シタルモノ一貫目ヲ得 本年ハ發生量少ナリ故ニ採集量少ナリ
	ゼンマイ	2,600	390	15	生ノモノ。生十三貫ヲ以テ乾燥シタルモノ一貫目ヲ得 本年ハ發生量少ナリ故ニ採集量少ナシ
	ヤマノイモ	196	196	1	自家用
	ウド	300	570	190	乾燥シタルモノ 自家用
11年	栗		円	銭	本年ハ当村ニ結實セズ
	クルミ	8.6石	215円	250銭	
	トチノミ	138.2	2,764	200	
	ワラビ	生1,625貫	195	12	生十五貫ヲ以テ乾燥シタルモノ一貫目ヲ得
	ゼンマイ	生2,623	525	20	
	ワサビ	734	2,936	400	
	ヤマノイモ	172	206	120	
	ウド	350	700	200	乾燥シタルモノ
13年	クリ	235.2石	3,998円	17円	
	クルミ	8	200	25	
15年	クリ	0.1石	25円	250円	一、價格ハ本村ニ於ケル平均相場トス
	クルミ	42	840	20円	一、栗ハ本年ハ結實セザル年ニテ（本村ニテハ一年交代ニ結實ス）其量至テ少量ナリトス 一、胡桃ハ栗ニ反シ非常ノ豊作ニテ曾テナキ收穫ヲ見タリ
昭和5年	クリ	2石	50円	25円	
	クルミ	17	340	20	
	ワサビ	1,021貫	7,141	7	
8年	クリ	4石	80円	20円	栗ノ實ハ本年ハ廻リ年ニテ結實少ナシ
	クルミ	22	280	15	
	ワサビ	1,024貫	6,144	6	

(白峰村役場統計書による)